

第四十五回帝國議會 衆議院 農會法案委員會會議錄(速記)第二回

會 議
大正十一年二月二十日午前十時二十分開議
出席委員左ノ如シ

委員長 植場 平君
理事 八田 宗吉君
理事 土井 權大君
理事 小鹽八郎右衛門君 伊藤 廣幾君
天春 文衛君 多木久米次郎君
成田 榮信君 中倉万次郎君
市村 貞藏君 齋藤字一郎君
佐久間啓莊君 守屋松之助君
同月十八日委員飯塚泰太郎君辭任ニ付其ノ補闕トシテ村山喜一郎君ヲ議長ニ於テ選定セリ
出席政府委員左ノ如シ

農商務次官 田中 隆三君
農商務書記官 石黒 忠篤君
本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

農會法案

○植場委員長 ソレデハ開會致シマス——伊藤君御質問ガアルナラ、伊藤君

○伊藤委員 私ノ御尋致シタイノハ、此條項ニ付テ二三ノ御尋ヲ致シタイト思フノデアリマスルガ、第九條ニ帝國農會ニ在リテハ内地ノ區域ニ依ル「ト云フコト」ニナッテ居ルノデアリマス、内地ト云フ用語ハ、是ハ何レノ地方ヲ指シタノデアリマスルカ、是迄北海道ニ於テ府縣ノ地方ヲ指シマシテ、内地ト云フコトハ俗ニ稱ヘテ居リマスケレドモ、此地理用語ト致シマシテ、北海道ヲ包含スル所ノ用語トハ、一寸認メ兼ネルヤウナ考モゴザイマス、ソレデ此内地ト云フノハ何レノ地域ヲ指スノデアアルカト云フコトヲ、一應御尋ヲ致シタイト思ヒマス、ソレカラ其次ニ此「特別ノ事由アルトキハ農會ノ地區ハ前項ノ區域ニ依ラサルコトヲ得」ト九條ニ規定サレテアリマスガ、特別ノ事由アル場合トハ、ドウ云フ場合ヲ意味シテ居ルカト云フコトヲ承リタイノガ、一ツデゴザイマス、ソレカラ舊法ニハ北海道ノ事ニ付テハ、明ニ規定セラレテ居リマシテ、舊法ニハ「北海道ニ於テハ數郡ヲ以テ一部農會ノ區域ト爲スコトヲ得」ト云フヤウナコトヲ、明ニ法令ノ下ニ規定セラレテ居ルノデアリマス、サウシマスルト北海道ニアリマスル所ノ郡農會トカ、或ハ町村農會ノ場合ニハ、ドウ云フ風ニ今回ハ御取計ニナッ

タノデアリマスルカ、ソレヲ承リタイノデアリマス、尤モ本法ノ第四十一條ニ於キマシテ「郡トアルハ北海道ニ在リテハ北海道廳支廳長管轄區域トス」ト云フコトハ規定サレテ居ルノデアリマス、併ナガラ是マデノ組織ノ順序カラ申シマス「ト云フコト」北海道ニ於テ郡農會ヲ組織シタ場合ハ、舊法ニ於テ數郡ヲ合シテ、一部農會ヲ組織シタ例モアリマスルシ、ソレカラ府縣同様に「郡」單位トシテ、行政區劃ニ依ラズシテ所謂地區單位トシテ、一郡或ハ二郡ヲ以テ郡農會ヲ組織シタ例モアルノデアリマス、サウスト云フコト今同ノ法ニ依リマス、絕對的ニ此北海道ノ郡ト云フモノハ、支廳ノ行政區域ニ限定セラレテ居ルト云フコトニナリマス、元々郡ヲ單位ニシテ郡農會ヲ組織シタノハ、何レノヤウニ取計ヲ受クルノデアリマス、此單純ナ「特別ノ事由アルトキハ」ト云フクデハ、ドウモ取扱上ニ於キマシテ、支障ヲ來スト云フヤウナ嫌モアリマス、ソレデ特別ノ事由アル場合ノ意味ヲ示シテ載キタイ、ソレカラ北海道ニ於ケル此農會組織ノ手續上ニ付テモ、一應承リタイト思フノデアリマス、ソレカラ其次ニ十條ノ但書「但シ農會ノ地區カ町、村、市、郡、道、府又ハ縣ノ區域ニ依ラサルトキハ其ノ名稱中ニ此等ノ區域ヲ示セキ文字ヲ用サルコトヲ得」斯ウ云フコトニナッテ居リマスルガ、是ハ矢張何レカノ場合ヲ指シテ居ルノデアリマスルガ、例ヘバ縣ノ區域ニ依ラザルト云フコトニナリマス、千葉縣ト云フコトハ、矢張體ヲシテ、縣農會ヲ組織スル場合ガアルト云フコトヲ、矢張意味シテ居ルノデアリマスルガ、サウ云フ場合ニ於テハ、或ハ埼玉縣農會、栃木縣農會、千葉縣農會ト云フコトモ無論出來ナイノデアアルカシテ、關東縣農會トカ云フヤウナ別名ノ他ノ字ヲ以テ表ハスト云フヤウナコトニモ見エマスガ、サウ云フ場合ハ一體豫想ガ出來ルカドウカ、縣ト云フモノガ地域トナッテ、サウシテ縣農會ト云フモノヲ組織スルト云フコトガ根柢ニナッテ居リマスル以上ハ、道ナリ、或ハ縣ナリノ區域ヲ越エテ、他ノ縣ト之ヲ合體スルト云フヤウナ場合ハアリヤ否ヤ、斯ウ云フコトハ吾々ハ豫想ニモ付カヌヤウナ事柄デアリマスルカ、ソレデ是ハ實際ニ於テ、サウ云フ場合ガアリヤ否ヤト云フコトヲ、承リタイト思フノデアリマス、ソレカラ第十一條デアリマス、十一條ノ中ニハ「郡農會及郡農會ノ會員ニ非サル町村農會ト云フ文字ガアリマス、是ハ農會ノ組織ノ上ニ於テノ大事ナ事柄デゴザイマシテ、農會ノ組織ニ付テハ、此八條ニ於テハ農會ノ種類モ明

ニ「町村農會、市農會、郡農會、道府縣農會及帝國農會」ト斯ウ明ニ種類ヲ示シテ居ルノデアリマス、サウシテ第九條ニ於テハ、地區ヲ以テ各種類農會ノ區分ヲ明ニ示サレテ居リマス、ソレ故ニ此農會ト云フモノ、組織ハ系統的ニナッテ居ルト云フコトハ、第八條、第九條ニ於テモ明ニナッテ居ルデアラウト思フノデアリマス、然ルニ此組織ノ所ニ行キマシテ、町村農會ハ直ニ道府縣農會ニ直屬スルコトガアルト云フヤウナ、所謂變態ノ例ヲ此所ニ舉ゲテ居ルト云フコトハ、此組織ノ根本ノ意義ニ牴觸シナイカドウカ、系統農會トシテ組織シテ居ル所ノ、其農會ノ根本方針ニ牴觸シハシナイカドウカト云フ疑ガアルノデアリマス、即チ此農會法立法ノ精神ニモ逆ラウヤウナ嫌モアリハシナイカ、ドウカト云フコトノ疑モ存スルノデアリマス、勿論已ムヲ得ザル場合ヲ豫想セラレテ、此法令ハ案出セラレタモノカトモ想像セラレレノデアリマスルガ、例ヘバ郡農會ヲ組織シ得ザル場合ニ於テ、已ムヲ得ズ、町村農會ヲ直ニ道府縣農會ニ直屬スルト云フヤウナ、已ムヲ得ザル場合ノ意味スルノデアラウト思ヒマス、サリナガラ私共ノ考ト致シマシテハ何所マデモ法ノ精神ハ一貫シナケレバナラスモノデアラウト思フノデアリマス、又十箇町村アリマシテ、其中ノ五箇町村ダケ町村農會ガ設立ヲ致シマシテ、所謂法定數ノ三分ノ二ニ達シマセヌ、場合ガアリト致シマスレバ、ソレハ私ノ見解ニ於キマシテハ恰モ是ハ未成年者ノ如キ關係ガアリマシテ、サウ云フ場合ニ於テハ、何所マデモ他ノ町村ヲ勸誘致シマシテ、農會ヲ組織セシメテ、サウシテ三分ノ二ニ達スルマデ待タナケレバナナイ事ト思フノデアリマス、又ソレガ不可能ナ場合、ドウシテモ其地方ハ町村農會ヲ設立スル能ハザルヤウナ、特殊ナ事情ガアル場合ナラバ、矢張特別ナル方法ヲ設ケマシテ、恰モ舊法ニ於テ、北海道ニ對シテ特別法ヲ設ケテ、農會ノ組織ヲ致シメタ如キ、或ハ法定數ノ三分ノ二ヲ二分ノ一ニスルトカ、或ハ耕地段別ノ二分ノ一ヲ三分ノ一ニスルト云フ様ナ特別ノ方法ヲ設ケマシテ、サウ云フ場合ニ適用致シマシタナラバ、斯ノ如キ不統一ナル事ノ取計ヲ致サズデモ、宜カラウト思フノデアリマス、又事實ノ問題ト致シマシテモ、郡農會ト町村農會ト稍、同一ニ致シテ、道府縣農會ニ直屬セシムルト云フコトハ、實際問題ト致シマシテモ、甚ダ公平ヲ缺ク嫌ガアルト思フノデアリマス、若シ是ガ適當ナリト致シマスレバ、斯ウ云フ場合モ起リハシナイカト思フノデアリマス、郡農會ガ直ニ帝國農會ニ直屬シナケレバナラス規定ヲ、更ニ設ケナケレバナラスコトニ

陷リハシナイカト思フノデアリマス、郡農會ノ數ガ三分ノ二ノ法定數ニ達シナイ場合ニハ、道府縣農會ヲ組織スルコトガ出來ナイノデアリマスカラ、或ハサウ云フ場合ヲ假定致シテ、帝國農會ニ直屬シナケレバ公平ヲ得ヌト云フヤウナ嫌モアルヤウニ思ハレマス、旁ニ是ハ法ノ精神ヲ酌ミ、農會ガ系統の組織スベキモノデアルト云フ根本的ノ精神ヲ以テ考ヘテ見マスレバ、是等ハ十分考慮シナケレバナラス事柄デアラウトモ思ヒマス、併シ此事ニ付十分當局ニ於テレマシテ、御考慮ヲ運ラサレテ居ルト云フコトハ察シマスルガ、實際之ヲ適用スル場合ニ於テ、不都合ナ事ガ生ジハシナイカト考ヘルノデアリマス、第一、私ノ方ノ北海道地方ニ就テ實例ヲ申上ゲテ見マスレバ、北海道ニ於テ此根室支廳ト云フ一ツノ行政區劃ノ地方ガゴザイマス、其地方ハ主ニ漁村ノ町村デゴザイマシテ、其中一ツノ町村ガ町村農會ヲ組織シテ居リマス、ソレハ十年前ヨリ根室町農會ト云フ一ツノ農會ヲ組織シテ居リマスガ、ソレガ漸次十年ノ星霜ヲ經マシテモ、他ノ方面ノ町村ハ主ニ漁村デアリマスカラ、中々外ノ方デハ組織シテ居ナイ、然ルニ此法規ニ依ルト、直ニ道農會ニ直屬セシメナケレバナラスト云フ關係ヲ生ジマス、所ガ其根室町農會ト云フハ頗ル遠方デゴザイマシテ、東京ヨリ青森間ニ於ケルガ如キ遠距離デアリマス、札幌トソレカラ根室町農會ノ間ガサウデアリマス、サウスルト斯ノ如キ遠キ地方ノ町農會ヲ道農會ニ直屬セシメテ、郡農會ト同一ニ取扱フト云フコトニナリマス、其取扱フ所ノ道農會モ、或ハ會員トナル所ノ根室町農會モ、頗ル困難ヲ來スダラウト思フノデアリマス、第一郡農會ト同様ナル負擔ヲ、町農會ガ負ハナケレバナラスコトニナリマセウ、ソレカラ道農會カラ致シマスレバ、遠方ニ在ル町農會ヲ郡農會ト同様ニ待遇スルカラ、相當ナ經費モ要スルノデアリマス、サウシマスレバ、何方デモ入レル方モ或ハ這入ル方モ、經濟上ノ困難ハ一方ナラザルコト、思フノデアリマス、只今ハ幸ニ斯ノ斯キ法規ハゴザイマセスカラ、此根室町農會ト云フモノハ根室支廳ノ監督ノ下ニ行政廳ノ監督ノ下ニ獨立シテ、自分デ町農會ノ經濟ヲ立テ、サウシテ第一條ニ示シテアル農事改良ノ目的ニ向ッテ、洵ニ快ク仕事ヲシテ居ルノデアリマス、併ナガラ表面ニ於テハ、全ク道農會ト關係ハゴザイマセスレドモ、裏面ニ於テハ品評會ガアレバ招待狀ヲ寄越ストカ、何カノ事ガアレバ序ニ出張シテ吳レト云フヤウナ依頼ガアリマシテ、矢張相當援助ヲ與ヘテ居リマスケレドモ、表面上ニハ現レテ居リマセヌノデ、所謂地方ニ適シタ所ノ仕事ヲ自然ニ行ッテ居ルト云フ實際ノ狀態デアリマス、斯ノ如キ事カラ考ヘテモ、此法ヲ實際ニ行フ場合ニ於テ、色々ナ支障モ起ラウト思ヒマスルシ、第一私ノ憂フル所ハ、農

會ノ根本方針、系統的ノ農會ノ精神ヲ失フト云フ慮ガアリマスカラ、此法ヲ定メル上ニ於キマシテ御考慮ヲ運ラサレタ、又御調査ヲ爲サレタコトガ多クアラウト思ヒマスカラ、是等ニ付テ一應承リマシテ、自分ノ考ヲ決定致シタイト思ヒマス、其他色々承リタイ事ガアリマスケレドモ、以上ノ事ヲ御尋致シマス

○田中政府委員 御答申シマスガ第九條「内地」トアル内地ノ解釋デアリマスガ、是ハ臺灣、朝鮮、樺太等ヲ除イタ事デアリマシテ、北海道地方ノ人ハ俗ニ日本々道ノ事ヲ内地ト唱ヘテ居リマスケレドモ、是ハ俗ニ稱ヘテ居リマスノデ、法律的ニハ内地ト云フ言葉ハ、サウデナイ、北海道ヲ無論包含シテ居リマス、サウシテ昨年ノ水產會議法ノ如キモ、矢張同ジ事デ立法例トナッテ意義ガ定メテ居リマスカラ御心配ニナルコトハナイト認メマス、ソレカフ其次ニ第九條ニ特別ノ事由アルトキハ農會ノ地區ハ前項ノ區域ニ依ラザルコトヲ得「ト云フコトニ付テ、現行法ト違ッテ居ルト云フ意味合カラ、意義ノ上ニ變化デモ起シタモノデナカラウカト云フ御趣旨デアッタヤウデゴザイマスガ、是ハサウデアリマセヌ、現行法デハ北海道デアリマスルトカ、ソレカ沖繩デアリマスルトカ、小笠原島デアリマスルトカ、云フヤウナ所ニハ、所謂特別ノ場合トシテ、前項ノ區域ニ依ラナクテモ宜シイト云フニ限定シテ書イテアリマス、ケレドモ、サウ云フ事ハ少シ法律ノ體裁ノ上カラ申シテモ、モウ少シ包括的ノ廣イ意味ニ、此度ノ法律ノ意味ノ如キモ、特別ノ理由アル時ト同ジ意味ニ、現行法ニ同ジヤウ意味ヲ示シタ方ガ、立法上ノ體ヲ得タモノデアルト云フ意味デ、斯ウ成立ッタモノデアリマス、適用ニ於テハ現行法ト變リハアリマセヌガ、併シ現行法ニアル場合ノ外、或ハ特ニ特別ノ必要アリト認ムルトキニハ、尙ホ其場合ニ於テモ區域ニ依ラシメザルコトハ出來ルノデアリマシテ、適用ノ範圍ハ廣クナッテ居リマス、併シ現行法ノ意味ヲ變ヘル趣意デハアリマセヌ、隨テ是亦第九條ノ適用ノ範圍ニ於テ、北海道ニ適用スル場合ニハ、現行法ト異ナルコトハ無イ譯ニナリマス

○伊藤委員 四十一條ハ限定シテアリマスカラ……

○田中政府委員 四十一條ノ方ハ一寸意味ガ違フノデアリマス、四十一條ノ方ハ此法ニ於テ郡トアリマスル所ハ、北海道廳ニ在ッテハ、支廳長ノ管轄區域ヲ所謂本法ノ郡ト同様ト視ルト云フ大體ノ原則ヲ定メタノ郡ト申シマスケレドモ、其場合ニ於テ特別ノ事由アル場合ハ、前ノ本則ニ溯ッテ、其區域ニ依ラザルコトヲ得ルト云フコトヲ此場合ニ於テ適用セラル、ノデアアル郡ト支廳長ノ管轄區域ハ同様ニ視ルト云フノガ、四十一條ノ規定デアリマスガ、サウ視タ後ニ於テ、特別ノ事由ガアレバ支廳長ノ管轄區域ニ依ラズシテ、第九條

ノ規定ヲ適用スルコトガ出來ルト云フコトニナルノデアリマスカラ、御心配ノ如キ事ハ起ラヌト思ヒマス、ソレカラ十條ハ半バ御質問ノ通りト思ヒマスルガ、或ハ數町村聯合シテ町村農會ヲ作ルヤウナトキニハ、所謂何々町外何村聯合町村農會ト云フヤウナコトモアリマセウ、或ハ又九條ノ場合ニ於テ中上ゲマシタ、或ル島ヲ一ノ區域トシテ農會ヲ作ルトキニハ、島ノ名稱ヲ附スルヤウナコトモアリマセウ、其等ノ場合ニ於ケル便宜ヲ圖ッテ、必ズシモ町村等ノ名前ヲ用ヰナクテモ宜シイト云フコトニナッテ居リマス、而シテ法文ノ解釋カラ申シマスレバ、法文ノミヲ簡單ニ見マスレバ所謂縣ト縣ト一緒ニナッテ縣農會ヲ作ッテ、兩方ノ縣ノ名前ヲ間接ニデモ現スヤウノ意味ヲ附ケテモ宜ササウニ見エマスガ、事實トシテ縣ト縣ガ聯合シテ一ノ縣農會ヲ作ルト云フコトハ、絶體ト申シテ宜イガアリ得ナイ事デ豫想ハ致シテ居リマセヌケレドモ、文章ノ上カラサウ云フ場合ガアッタトスレバドウカト云フ事ニナレバ、無論ソレニ相當スル何カノ名稱ヲ附ケテモ、差支ナイト云フ結論ニナルノデアリマスガ、實際上ノ問題トシテハ、サウ云フ事ハ起リ得ナイト存ジマス、次ニ第十一條ノ所謂町村農會ト縣農會トノ間ニ、郡農會ノ無カッタ場合ニハ、町村農會ハ道府縣農會ノ會員ト見ル、此規定ニ付テ種々御心配ノ御趣旨ヲ以テ御尋デアリマスガ、如何ニモ御心配ナル點ニハ御尤デアリマス當局ニ於テモ此場合ニ於テ、即チ普通一般ノ原則カナ申シマスル、町村農會ガアリ、ソレヲ取纏メタ所ノ郡農會ガアリ、ソレカラ道府縣農會ガアルト云フ、系統ヲ以テ聯絡ヲ取ッテ居リマスルガ、其中間ニ介在スル郡農會ノ成立タナイトキニ、其町村農會ト道府縣農會トノ關係ヲ如何ニスルカト云フコトニ付テハ、色々考慮ヲ運ラレタノデアリマス、伊藤君ノ御趣旨ハ、サウ云フ場合ハ會員ニシナイ方ガ宜イト云フ御考デアアルカドウカ、ハッキリ分リマセヌデシタガ、假ニ道府縣農會ノ會員トシナイコトニナルト、町村農會ト道府縣農會トノ間ノ聯絡ガ全ク切レテシマウ、連絡ヲ切ラレテシマウ置イタ方ガ宜イカ、何等カ變則デアアルケレドモ、其間ノ連絡ヲ付ケルコトニシタ方ガ宜シイカト云フコトハ問題ニナル、此點ニ付テ當局ニ於テモ非常ニ心配致シマシテ、帝國農會ノ如キニモ諮問致シテ、ソレノ經驗ノアル方々ノ御研究ノ末、所謂連絡ヲ付ケタ方ガ宜シイスウ云フ結論ニ到著シテ、此提案ノ如キ意味ニナッタノデアリマス、而シテ此實行ノ結果、只今伊藤君ノ色々御心配ニナッタ根室支廳ニ於ケル實例ヲ根據シテ、根室支廳ノ管轄内ニ一ツノ農會シカ無イ、而モ道農會トノ間ハ非常ニ距離モナイ、態々出ルノモ種々ノ困難ガアル、サウシテ其僅カ一農會デアッテ重キ負擔ニ當ラナケレバナラヌ、負擔ノ上ニ於テモ困

ル、寧ろ適用上不都合デアルト云フヤウナ御心配デアリマス
ガ、斯ル場合ニ於テハ、御心配ニナラナクトモ宜イヤウナ他
ノ規定ガアル、即チ第十六條ニ、同じ地域内ノ會員タル資格
ヲ有スル者ハ、總テ其農會ニ加入サレタ者ト看做サレルガ、
行政官廳ニ於テ、特別ノ事由ニ依リ加入ノ必要ナシト認メ
タ場合ニハ、加入セヌデモ宜イコトニナルデアリマス、取
調ヲシナケレバハハキリ御答ハ致シ兼ねマスガ、伊藤君ノ御
心配ニナルガ如キ場合ニハ、此條項ノ適用ニ依リテ、御心配
ノ必要ガ無イコトニナラヌト思ヒマス、却テ之ニ反シテド
ウシテモ、狀勢ハ道府縣農會ニ加入ヲ必要トスル、又希望ス
ル、サセテ方宜シイト云フ場合ニモ、道府縣農會ニ出席シ
テ諸種ノ相談計畫ニ與カルコトガ出來ナイ、聯絡ヲ執ルコ
トガ出來ナイト云フモノノ爲ニ、十一條ノ如キ規定ガアッ
方宜シイ、斯ウ云フ事モ帝國農會ニ於テ色々諸問ノ際ニ、
討議研究ノ末是認セラレタ規定ニナッテ居リマスノデアリ
マス、尙ホ漏レタ所ハ更メテ申シマス

○植場委員長 高田君御質問ガ殘ッテ居リマスカ

○高田委員 殘ッテ居マス

○村上委員 私人飯塚君ノ補缺デ當選シマシタ、農會法ノ
根本精神ニ付テ御尋シタイ、ソレカラ各條文ニ互ッテノ質疑
ヲシタイ點ガアリマスカラ、通告ヲ致シテ置キマス

○伊藤委員 今ノ續デアリマスルカラ——私ハ十一條ノ條
項ニ付テハ、御説明ヲ承リマシテ諒解ヲ致シマシタガ、
ソレニ付キマシテ此町村農會ノ場合ニ於キマシテ、郡農會
ヲ組織スルニ當リマシテ、法定數ノ三分ノ二ト云フモノガ
何所迄モ之ヲ保持シテ、サウシテ此郡農會ヲ組織スルニ
於テ、法定數ト云フモノハ變更ノ出來ザルモノデアルト云フ
ヤウナ、今尙ホ御考ヲ持ッテ居ラレマスカ、或ハ又今ノヤウ
ニ、寧ろ郡農會ヲ縣農會ニ附屬セシムト云フコトハ問題デ
アルカラ、ソレデ或ハ三分ノ二ト云フモノハ問題デ、特
例ヲ設ケララルト云フヤウナ御意思ガナイデアリマセウカ
ドウカト云フコトヲ承リタイ、ソレカラ昨日モ八田君ヨリ
モ市農會事ニ付テ、御尋ガアッナデアリマスガ、實際ノ問
題ト致シマシテ、市農會ハ町村農會ヨリ尙ホ貧弱ナル所ノ
形ヲ備ヘテ居ルコトデアリマシテ、永久ニ市農會ト云フモ
ノハ、擴張ノ餘地ハ恐ラクハ無イモノト考ヘマス、ソレハ尤
大ナル郡農會ト同一視シテ府縣農會ニ直屬セシムル事ハ、權
衡ノ上ニ於テ甚ダドウカト思ヒマス、舊法ニ於キマシテハ、
市ノ區域ノ一部ヲ町村農會ノ區域ニ加ヘコトヲ得ルト云
フコトニ定メラレテ居リマシタ、サウ云フ場合ハ矢張町村
農會ノ區域ニ編入シテ取扱ッテ居ラナデアリマス、詰リ斯
ウ云フ取計ヲ致シテ居リマシタノヲ、今回ハ更ニ實際ニ於
キマシテハ、町村農會及耕地段別ノ上ニ於キマシテモ、農家

ノ口數ノ上ニ於キマシテモ、總テノ點ニ於テ劣ッテ居ル市農
會ノ形ノ上ニ於キマシテハ、市ト云フモノデアリマスカラ敬
意ヲ拂ハナケレバナラス、斯様ナ意味合カ知リマセヌガ、兎
ニ角形ニ因ハレテ、實際非常ナ差ノアルモノヲ矢張郡農會
ト同一ノ扱ラスルト云フコトハ、如何ナモノカト考ヘテ居
リマス、是ハ實際問題ト致シマシテ、北海道ニ於ケル室蘭ノ
區農會デアリマスガ、是等ノ如キハ普通ノ郡農會ノ、百分ノ
一ソコ——シカナイ所デアリマス、ケレドモソレデモ矢張
農會トシテ同一ノ扱ヲシナケレバナラスコトニナッテ居リ
マスガ、斯ノ如キ事ハ實際取扱ニ於テ、甚シク不權衡ノ虞ガ
アルノデアリマスガ、矢張舊法ノヤウナ取扱ラスルト云フ
コトハ、實際ニ之ガ出來得ザルモノト御考デゴザイマセウ
カ、又其他ノ理由ガアッテ、實際ニ離レタ取扱ヲシナケレバ
ナラスコト云フ理由ガアルノデアリマセウカ、是等ヲ御尋致
シタイ

○石黑政府委員 只今ノ御尋ニ付テ私カラ御答ヲ致シマス
郡農會ノ組織ノ數ヲ、三分ノ二ト云フモノハ三分ノ一トスル意
思ガ無イカ、是ハ從來ノ通りニ、矢張三分ノ二ト云フ條件デ
適當デアルト考ヘテ居リマス、隨テ改正法ニ於キマシテモ、
其點ニ於テハ別段ニ數ノ改正ヲ致シテ居リマセヌ、ソレカ
ラ次ニ市農會ト町村農會トヲ較べルト、寧ろ町村農會ノ方
ガ大キク市農會ガ町村農會ヨリモ小サイト云フヤウナ狀況
デアルノヲ、ソレヲ郡農會ト同等ニ取扱フノハ、如何ニモ不
穩當デナイカト云フ御尋デアリマスガ、多ク均ラシテ申上
ゲルト、市農會ハ決シテ町村農會ヨリモ小サイト云フコト
ガナイノデアリマス、經費ノ點ニ於キマシテモ、町村農會ノ
平均ノ經費ヨリモ、市農會ノ經費ノ方ガ、餘計ニナッテ居リ
マスト云フヤウナ次第デアリマス、併シナガラソレヲ郡農
會ト同等ニ取扱フコトハ、重大ナ問題デアリマスカラ、
之ニ關シテ從來ハ、他ノ町村農會ニ合併シ得ルヤウナ取
扱ガアッタガ、今度ハドウカト云フ御尋デアリマスガ、其點
ハ舊來ト改正ト何等違ガナイ、市部ニ屬シテ居ル地區ガ便
宜上ノ町村ニ合體シテ、農會ヲ設ケルト云フコトモ爲シ得ル
ノデアリマス、而シテ此市農會ヲ郡農會ト同一ニ取扱フコト
フコトハ、權衡上適當ナリヤ否ヤト云フコトハ、實ニ中シマ
シタ通り重大ナ問題デアリマス、故ニ是ハ諮問ヲ致シ、又調
査ヲ致シマシテ、其結果矢張同等ニ取扱フ外致方ガナイト
云フ結論ニナッナデアリマス、決シテ空想デハナイノデア
リマス、北海道ノ事情ハ多少違フ所ガ場所ニ依ッテアルカ知
ルマセヌガ、全國ノ事情ニ就テ帝國農會ニ諮問致シマシタ
所ガ、實際其衡ニ當ララル御方ガ、斯ウヤッタ方ガ宜カラ
ウト御答申ニナッテ、吾々ノ調査致シマシタ所ト御答申トガ
一致シマシタ爲ニ、極メテ是ハ空想デハナクシテ、寧ろ實際

ニ當ッテ居ル方ハ斯ウヤル方ガ宜シイト、斯ウ云フ結果ニ
ナッテ考ヘテ居ルノデアリマス

○伊藤委員 十三條ニ付テ、昨日齋藤サンカラモ御尋ガア
リマシタガ、此町村農會ガ創立總會ニ於テ、創立委員一名ヲ
選舉セヨト云フコトヲ十三條ニ規定シテアリマス、又十四
條ニ於キマシテモ、創立總會ニ於テ、農會ノ議員及豫備議員
ヲ選舉セヨト云フコトヲ規定サレテ居ル、サウシテ十七條
ニ於テ創立委員ハ其議員トナル、斯ウ云フコトヲ規定サレ
テ居ルノデアリマスガ、是等ハ私モ齋藤君ト同様ニ、是ガ疑
問ニナッテ居ルノデアリマスガ、一應昨日ノ御説明ヲ承リマ
シタケレドモ、諒解ニ苦シシデ居ルノデアリマス、即チ二重
ノ選舉法ヲ爲サラナケレバナラナイヤウニ、ドウシテモ見
エルノデアリマスルガ、モウ一應ドウゾ諒解ノ出來ルヤウ
ニ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○石黑政府委員 十三條ト、十四條ト、十七條ト、是ハ書方ガ
混雜シテ居リマス爲ニ、御諒解難イノデ甚ダ恐縮デアリマ
スガ、十三條ハ是ハ創立ノ際ニ創立委員ヲ下級農會カラ選
ンデ出ス、斯ウ云フコトヲ條文デアリマス、ソレカラ十四條
ハ、其結果將來組織セラルベキ上級農會ニ對シテ出ス所ノ
議員トナルベキ者ヲ選バヤウニト云フ規定デアリマス、ソ
レカラ十七條ハ下級農會ノ其農會ノ議員ニ、創立委員ガ設
立ノ許可ガアレバ直ニナル、斯ウ云フ規定デアリマス

○伊藤委員 尙ホ重ネテ御尋致シマスガ、ソレハ私モ諒解
シテ居リマスルガ、此町村農會ノ場合ニ於キマシテ、此郡農
會ヲ組織スル創立委員ト云フモノヲ選舉シマシテ、其創立
委員ハ郡農會ノ議員ニナルト云フコトハ、十七條デ是ハ示
サレテ居リマス譯デアリマス、サウスレバ十四條ノ農會ノ
議員及豫備議員ト云フモノハ、矢張郡農會ノ議員及豫備議
員ト云フノデナク、郡農會ニ出席スル所ノ、詰リ町村農會ノ
議員ト云フコトニナリマスカ

○石黑政府委員 十四條ノハ只今ノ御見解ト違ヒマシテ、
先程モ申シマシタ通り、モウ一ツ上級ノ農會、即チ郡農會カ
ラ出ス所ノ縣農會ノ議員ヲ其際ニ選ベ、斯ウ云フ事デアリ
マス

○伊藤委員 併シ「町村農會及市農會ノ創立總會ニ於テハ」
トアルノデスカラシテ、是ハ町村農會ノ創立總會ノ場合デ、
其議員ト云ヘバ、郡農會ニ出席スル議員ト云フコトニナリ
ハセヌカト思ヒマス

○石黑政府委員 十四條ノモウ少シ下ノ方ヲ御覽ヲ願ヒタ
イト思ヒマス「其ノ他ノ農會ノ創立總會」トアリマシテ、是
ハ色々場合ヲ引繼メテ書イデアアルノデアリマスカラ、左
様御承知ヲ願ヒタイノデアリマス、町村農會ダケニ限リマ
セヌ

○高田委員 私ハ少シク遅レマシタカラ、或ハ質問ガ重複ニナルカモ知リマセヌガ、重複ニナリマシタ點ハ御答ガ無クトモ宜シウゴザイマスカラ、ドウカ其積リテ願ヒマス、第一ニ伺ヒタイノハ、此間町村自治體ト、其町村ノ農會ト、孰レヲ主トシテ農商務省ハ農業ノ獎勵發達ヲ圖ルヤト云フ質問ヲ致シマシタ所ガ、次官ハ孰レト云フコトハナイ、ドチラモ同様ダ、斯ウ云フヤウナ風ノ御答ガゴザイマシタ、サウスレバ縣農會ト縣ノ農商課トノ對照ニ付キマシテモ、府縣行政廳ノ農商課ト府縣農會トニ於テモ、孰レニ重キヲ置クト云フヤウナ事ハナイノデゴザイマスカ、私ノ考デハ町村自治體ヲ主トシテ、農會ハ補助機關ト云フヤウナ意味ノ方針ヲ御執リニナル方宜シイト思ヒマスケレドモ、次官ノ此間ノ御答デハ、ドチラガドウト云フ譯デハナイ、ドチラモ同ジヤウニ農商務省ハ視テ居ルト斯ウ云フ事ニナルト、府縣ノ方モ、矢張府縣農會モ府縣農商課モ同ジヤウニ視レドモ、府縣農會ト府縣農商課ト、孰レノ農業獎勵機關ヲ主ト做スヤ、徒ト做スヤ、或ハ孰レモ主徒ハ無イ、ドチラモ同ジデアルト云フコトノ、御見解デアルヤ否ヤト云フコトヲ確メテ置キマス

○田中政府委員 御答致シマスガ、孰レヲ重ク視ル、何レヲ輕ク視ルト云フ、所謂輕重ノ言葉ヲ以テ其雙方ニ對スル考ヲ御尋ニナリマスレバ、矢張府縣農會ノ方モ同ジ事デゴザイマシテ、府縣農會ヲ重ク視テ、縣廳ノ方ノ勸業課ノ方ヲ輕ク視ルトカ、勸業課ヲ重ク視テ、府縣農會ノ方ヲ輕ク視ルト云フヤウナ、輕重ノ考ハ少シモ持ッテ居リマセヌ、輕重ノ考ヲ持ッテ居ナイト云フコトヲ、是ハ言葉ヲ以テ中セバ同ジヤウニ見ル、斯ウ云フ風ニ御答スルヨリ致方ナイト思ヒマス、而シテ其府縣ノ勸業課ナラ勸業課ト云フモノガアッテ、勸業上ノ施設ナリ獎勵ナリ致シテ居ル上ニ、又府縣農會ト云フモノガアッテ、同ジヤウニ勸業上ノ進歩發達ヲ圖ッテ居ル、斯ウ云フ事ニナルノデアリマスルカラ、互ニ助け合ケラレテ、縣ノ足ラザル所ハ農會之ヲ補ヒ、農會ノ屈カヌ所ハ縣ガ之ニ援護ヲ與ヘル、或ハ相共ニ同ジヤウナ事ニ付テ、俱ニ與ニ手ヲ携ヘテ進ムト、斯ウ云フ事モゴザイマセウト思ヒマス、ドウモ二ツノ間ニ輕重ノ差異ヲ設タルト云フコトハ私ハ甚ダ宜シカラヌ事ト思ッテ居リマス、實際上ノ問題ニ致シマシテモ、段々先達以來御質問モゴザイマシタガ、何カ雙方ノ間ニ低觸スルヤウナ事ガアル、一方ハ右ト言ヒ、一方ハ左ト言フト云フヤウナ事ガアルト云フ御質問デアリマシタガ、サウ云フ事ニナルトソレハ洵ニ憂フベキ事デゴザイマスカラ、サウ云フ事ノ無イヤウニシテ、俱ニ與ニ助け合ッテ、所謂農業ノ改良進歩ヲ圖ルト云フ目的ヲ貫徹致シタイモノト、

當局ニ於テハ考ヘテ居リマスノデス

○高田委員 次ニ第三十四條ノ中「又ハ公益ヲ害シ若ハ害スルノ虞アリト認ムルトキハ」ト云フ公益ヲ害シ、若ハ害スルノ虞アリト認ムルト云フコトハ、非常ニ廣イ範圍ニナリマスケレドモ、是ハ具體的ニ言ヘバドウナリマスカ、而シテ此規定ハ前ノ勅令ニ依リマシタヤウニ思ヒマスガ、之ヲ適用シタ場合ガアリマスカドウカ、一寸伺ヒマス

○石黑政府委員 只今ノ御質問「公益ヲ害シ若ハ害セン」トスルノ「公益」ト云フ場合ニ該當シテ、何カ法令ヲ適用シタヤウナ場合ガアラウト云フ御質問デアリマスガ、サウ云フ事ハ實例ニ只今マデ何モアリマセヌ

○高田委員 實例ハ無イトスレバ、斯ウ云フ事ヲ御書キニナルカラニハ、具體的ニ言ヘバドウナリマス、大分廣イ事ニナリマスノデ、或場合ニ於テ監督官廳ト云フモノガ、詰ラヌ事マデハ公益ヲ害スルト云フ事ヲ言ハレト思ヒマスカラ、決議ヲ取消ス、或ハ都合ニ依リ事業ヲ停止スルト云フヤウナ事モ、是カラ起ルノデアリマスカラ、如何ナル場合ガ公益ヲ害シ或ハ害スルノ虞アリト認ムルト云フコトヲ、具體的ニ御示ヲ願ッテ置ク必要ガアル、是ハ今日マデ適用ガ無カッタト云フコトデアリマスカラ其心配ハアリマセヌト思ヒマスケレドモ、近頃ノ情勢ハ段々變テ來マシテ、御承知ノ通り一昨年ノ米ノ問題ニ付テ、投資防止、或ハ不賣同盟ト云フコトガ起ッタト云フヤウナ譯デ、段々斯ウ云フヤウナ事ガ起ルト思フ、サウ云フヤウナ場合ガ起ルトスレバ、如何ナル場合ヲ以テ公益ヲ害スルト看做スト云フコトヲ政府ノ意見ヲ確メテ置キタイ、無暗ニヤラレト困ッタコトニナリマスカラ、如何ナルモノカ具體的ノ事例ヲ示シテ、御話ヲ願ッテ置ク方宜カラウト思フ

○田中政府委員 詰リ行政上ノ監督權ヲ行使スル場合ニ於テ、一番重キ宜シカラザル行為トシテノ例トシテハ、所謂此所ニアリマスヤウニ、公益ヲ害スルヤウナ場合ト云フコトヲ、皆ナ大抵ノ法令ニ書イテアルノデアリマス、別ニ此事件ニ付テ斯ウ云フ事柄ガアルカラ、之ニ該當スルト云フ意味ヨリハ、寧ロ公益ヲ害スルト云フコトハ、非行爲ノ中ノ最モ重大ナル非行爲トシテ、斯ル場合ニ於テハ、所謂行政監督權ノ制裁ヲ行使スルコトガ出來ルト云フ風ニ、法律ガ規定セラレテ居ルノデアリマス、而シテ御尋ノ如ク或ル出來事ノ起ッタ場合ニ、ソレガ果シテ公益ヲ害スル程度デアルヤ否ヤト云フコトハ、中々ムツカシイ問題デアル、ソレハ明瞭ニ公益ヲ害スルト云フヤウナ場合ガゴザイマセウケレドモ、所謂此條係ニ該當スベキヤ否ヤト云フコトヲ決定スルニ付テハ、餘程困難ナ事ガアラウト思フノデス、一方ニ於テ食糧ニ窮シテ非常ニ困ッテ居ルト云フ場合ニ、若シモ俗ニ謂フ不賣同盟ト云フモノデモ作ッテ、飢饉ニ瀕スル者モアルト云フヤウナ斯カル危險ノ場合ニ於テ、假ニ聯合シテ所謂不賣同盟ヲスルヤウナコトガアッタトキニ、其時ノ事情ニ依リ、公益ヲ害スル一ノ行為ト認メラレカモ知レナイ、或ハ農會等ノ決議ニ於キマシテ、或ハ小作人或ハ地主等ノ一方ノ利益ノミニ非常ニ偏スル所ノ施設ヲ執ッテ、容易ナラザル紛擾ヲ起スト云フヤウナ模様ノアッタトキニハ、此規定ノ適用トシテ、ソレヲ差止メルコトガアルカモ知レナイ、是ハ實際ノ問題ニ觸レテ、其事情ニ依ッテ判斷スル外ナカラウト思フ、デ無論サウ云フ實際ノ事情ニ依ッテスルノデアリマスカラ、若モ故意ニ其適用ヲ過ツヤウナ事ヲスルト云フヤウナコトハ、無キヲ保セヌコトデアラウト思ヒマスケレドモ、併ナガラサウ云フ事ガ不幸ニシテ起ッタトスレバ、ソレハ放任スル譯ニ行カヌコトデアリマスカラ、法律ト致シマシテハ、是非トモ斯ウ云フヤウナ規定ヲ必要トスルモノト、私共ハ認メテ居リマスノデアリマス

○高田委員 次ニソレニ關聯シテ伺ヒマスガ「農會ノ事業ヲ停止シ又ハ、農會ノ解散ヲ命スルコトヲ得」トアルノデスガ、此農會ノ事業ヲ停止スルコトハ、何カ農會ノ事業ノ中、公益ヲ害スル處アル事ヲ農會全體ノ事業ヲ停止スル意味デハナカラウト思ヒマスガ、サウ解釋シテ差支ナキヤ否ヤト云フ事、ソレカラ「公益ヲ害スル」ハ害スル處アリト認ムルトキハ決議ヲ取消シ、役員若ハ特別議員ヲ解任シ「云々」トゴザイマシテ「事業ヲ停止シ又ハ農會ノ解散ヲ命スルコトヲ得」ト書カズトモ、監督ガ十分ニ出來ヤウト思ヒマスケレドモ、此農會ノ事業ヲ停止シ、又ハ解散ヲ命スルト云フコトヲ制除致シマシテハ、何カ監督ヲ完全ニスルコトガ出來ナイヤウニナリマスカ

○田中政府委員 御答中上デマスガ、事業ヲ停止シト書イテアリマス意味ハ、御尋ノ通りニ、所謂其法ニ觸レントスル仕事デ、何カ今爲サントスル仕事、或ハ爲シツ、アル仕事ニシテ、前ニアリマス通り會則ニ違反シ、公益ヲ害シ、又ハ害スル處アリト認ムル場合ノ事ヲ申スノデアリマス、ソレカラサウ云フ事ヲセヌデ、其前ニアル決議ヲ取消ストカ、或ハ役員ノ解任ヲスルトカ云フコトデ宜イヤウシヤナイカト云フコトハ、御尤ノ御尋デゴザイマスカ、法律ノ多クノ場合ニ於テ、前ノ分ノ手續ニ依ッテ、法律ノ憂フル事柄ハ十分ニ防遏ヲ得ララウト思ヒマスケレドモ、同ジ決議ヲ取消シマシテモ、何遍モ何遍モ繰返シテ同ジヤウナ決議ヲスルコトモ、豫想シ得ラレナイコトモナカラウト思フノデアリマス、役員ヲ取替ヘテモ、取替ヘテモ、命ニ從ハスト云フコトモ無イトモ申サレマセヌ、無論サウ云フ事ノ起ル場合ハ殆ド

アルマイ、又無カランコトヲ希望スルノデアリマスケレドモ、ドウシテモ立法トシテ此所マデ規定シテ置カナケレバ、所期ノ目的ヲ達スルコトガ出来マイト思フ、又先例ト致シマシテモ、總テ商業會議所法ニ致シマシテモ、水産會法ニ致シマシテモ、同業組合法ニ致シマシテモ、法律ノ一ツノ文例ノヤウニ、此從來ノ規定ヲ置カレテ居リマスルノデアリマスカラ、無論殆下適用ノ無イモノト存ジマス、又其死文同様ニナランコトヲ切望致シマスルガ、ドウシテモ法トシテハ、此體裁ヲ存シテ置カナケレバナラヌト思ヒマス

○高田委員 此決議ヲ取消スト云フコト、農會ノ事業ヲ停止スルコト云フコトハ、餘リ私ハ農會ノ事ハ能ク知リマセヌガ、事業スル場合ニ決議スル、事業スルノニ何等決議ナシニ事業スルコト云フコトハ無イト思ヒマス、決議ヲ取消セバ事業ヲ停止スルヤウニ思ヒマス、私ハ農會ノ事ヲ知リマセヌカラ、或ハ質問ガ惡イカモ知リマセヌガ、決議ヲ取消セバ——事業ヲ創メルノニ決議ナシニ創メルコトハ無イ、評議員會トカ、總會ノ決議ガアツテ始メテ事業ヲ爲ス、決議ノ取消ト云フコト、事業ノ停止ト云フコトハ、一重ニナルデハナイカト思フノデアリマス、或ハ又斯ウ云フ事ニナルノデアリマスカ、決議ヲ取消シテモ仕事ヲシテ居ル、斯ウ云フ場合ニ仕事ノ停止ヲ命ズルノデアリ、斯ウ云フ御解釋デハアリマセヌカ、一寸重複ノヤウニ思ヒマスガ如何デスカ

○田中政府委員 御答致シマスガ、決議ト云フコト、事業ト云フコトハ、是ハ別ノ場合ヲ見テ規定シテ居ルノデアリマス、決議ニ依テ所謂何カ總會ノ豫算等ト關連シテ、豫算等ノ決議ヲシマシテ、ソレニ依テ實行シマスル、事業モ行ヒマセウ、多クノ場合ソレデアリマスケレドモ、單純ノ決議ヲスルコトモ、農會トシテスベカラザル事ヲ議ニ付シテ、決議スルト云フコトモアルノデアリマス、其故ニ決議ト云フコトガ即チ起テ來タヤウナ譯デアリマス

○高田委員 次ニ二十七條ニ關係シタ事デスケレドモ、政府委員ノ御説明デハ、段々農會モ進歩シテ來タカラ、現在ハ郡長等ガ會長ニナッテ居ル所ガ多イガ、成ベク斯ウ云フ風デナイ方ガ宜イカラ、大體ニ於テ會長副會長ハ、普通ノ會員ヨリ出スヤウニスル方ガ宜イト云フ風ナ意味デシタカ、或ハサウ云フ方針ニナッテ來タト云フノデシタカ、ハッキリシマセヌガドウ云フノデゴザイマスカ

○田中政府委員 前會ニモ申上ゲマシタ通り、政府ト致シマシテハ、成ベク其自治體ノ力ニ依テ其力ヲ其自治體ヲ組織スル所ノ内容分子ガ、矢張本當ノ性質上ノ會員ヲ以テ組織スルヤウニ致シタイト思フ、其故ニ會長副會長ノ如キモ、他カラ借リテ來ルト云フコトハ希望致シマセヌ、

今日或郡長ガ府縣農會ノ會長ニナッテ居リマスルガ、郡長ガ縣農會ノ會長ニナッテ居ルト云フコトハ宜シクナイ、變則デ一時已ムヲ得ザル方法ト認メテ居リマス、幸ニ此法案ガ通過致シマスレバ、尙ホ一層サウ云フ事ニシテ、自治的ニ自覺的ニ活動スルヤウニ希望スル趣旨ヲ以テ、尙ホ一層一ツ勸誘シテ見タイト思フ、テ居リマス、其位ニ考ヘテ居リマスカ

○高田委員 サウスレバ但書ハ削除シテモ、御不同意ハナカラウト思ヒマスガ、如何デスカ

○田中政府委員 サウ努メル積リデアリマスケレドモ、現ニ深く地方ノ事情ニ通ジテ居ラル方々ニ——所謂帝國農會ニ諮問致シマシテモ、ドウシテモ當分矢張之ガナケレバ活用上ニ於テ不便ヲ感ズルコトガアル、斯ウ云フ御答デ已ムヲ得ズ入レテ居リマスケレドモ、何所迄モ原則ト例外ト云フコトハ深く注意シテ、出來得ル限り本則ニスルヤウニト云フコトヲ尙ホ一層努メテ見タイト云フ當局ノ考デアリマス

○高田委員 政府ガ郡制ヲ廢止シタル趣旨ヨリ類推スレバ——類推スルト云フ言葉ハ惡イガ、何ト云フタ宜イカ知リマセヌガ、郡農會ト云フモノガ無クテモ宜イデヤナイカ、斯ウ云フ考ニナルノデアリマスガ、郡制廢止ノ當時ノ内務大臣ノ御説明ニ依レバ、成ベク郡ノ自治體ノ仕事ハ、餘リ發達シナイカラ無クスルト云フ趣旨デアル——是ハ無論郡ノ自治體ノ仕事ハ、郡農會ノ仕事ト違ッテ居リマスケレドモ、違ッテ居ルヤウナ、同ジ様ナモノニナッテ居ルト思ヒマス、但シソレハ郡制ヲ廢止シタカラ、郡農會ヲ置クト云フコトガ惡イト云フ意味デハアリマセヌケレドモ、其等ノ趣旨ヨリ類推スレバ、郡農會ハ無クテモ、町村農會ト府縣農會トノ直接連絡關係デ、仕事ガ出來ナイモノデゴザイマセウカ

○田中政府委員 是ハ實際問題デゴザイマシテ、ドウモ各々利害得失ガアラウト思ヒマス、其地方ノ事情ニモ依ルコトデアラウト思ヒマスガ、町村デ直グ府縣ノ農會ニナルト云フコトデハ餘リ隔リガアリ過ギテ、連絡上又色々ノ施設ノ徹底ヲ期スル上ニ於テ、不便デアルト云フヤウナ御考ヘモ強イヤウデアリマス、結局是等ノ點モ度々申上ゲマスガ帝國農會ニ於キマシテ全國ノ方々ガ御集リニナッテ、審議討論ノ結果、現在ノ通り連絡ト段階ガ宜イト云フコトニナッテデアリマス、各々利害得失ハアラウト思ヒマス

○高田委員 私ノ質問ハ終リマシタ

○村山委員 昨日傍聴致シテ居リマシタケレドモ、切レマデデアリマスカラ、私ノ今御尋スルノハ、或ハ他ノ委員カラ既ニ御質疑ニナッテ點モアツテ、重複スルカモ知レマセヌガ豫メ御尋致シマス、先ヅ第一ニ此農會法改正ニ付テノ根本精神ヲ一應伺ッテ見タイト思フノデアリマス、先ニ此條文ヲ

見ルト、農會員タル資格ハ、耕地ノ外牧場又ハ原野ヲ所有スル者モ會員ニナッテ居ルヤウデアリマス、是ハ舊法ニ於テモソレガアツタノデアリマスガ、然ルニ農會ノ目的ノ方カラ參リマスルト、純然タル農業ノ指導獎勵何ヤト云フ純農業ニ限局サレテアル、會員ノ資格カラ云フト、牧畜、原野ヲ所有シテ居ル者、斯様ナ次第デアリマス、此頃府縣ノ山林會、或ハ郡ノ山林會、私有林ノ經營ニ關シテ、一ツノ形ヲ以テ色々施設ヲシテ居ルノデアリマスガ、今農會法改正ノ機會ニ於テ、農會法ノ中ニモ其山林經營ニ關スル其指導獎勵ノ事項ヲ加ヘテ農會ヲシテ之ニ當ラシメルト云フ御意思ガ無イノデアリマセウカ、先年地方ノ山林會ノ事業ヲ農會ニ併合シテ、農會ニ之ヲ當ラシメルガ宜イト云フ意見ガ、農會カラ出タヤウニ承ッタノデアリマスガ當時農商務省ノ山林局ノ方針トシテハ山林ハ山林デ別ニ單獨ニ山林會法ヲ制定シテ之ニ當ラシメル意思ガアルガ故ニ、農會ニ之ヲ併置スルコトハ避ケタイト云フ意思デアツタヤウニ聞イデ居リマス、又兩三年前デアリマシタカ、地方ノ林務主任會議ガ本省ニ召集サレマシタ折ニ、是等ノ事モ諮問ニナツタヤウニ私ハ承ッテ居リマス、所ガ山林關係ノ方面ニ於テハ併置スルノハ宜シクナイ、矢張山林デ、單獨ニ山林會ト云フモノヲ持ッタ方ガ宜イト云フ、斯ウ云フコトデアツタヤウニ承ッテ居リマス、然ルニ今改正ノ機會デアリマスカラシテ、若シ更ニ此山林法ト云フモノヲ近ク制定シテ、山林ハ山林ダケニソレニ當ラシメルト云フ考デアレバ兎モ角モ、其企ナシトスレバ現在此府縣ニアル所ノ府縣山林會、郡山林會ト云フモノヲ農會ニ併置スルト云フコトガ、私ハ農林兩者ノ調和ノ上カラ、適宜ノ處置デアラウカト思ヒマスガ、是ハ近ク山林會法ヲ制定シテ、單獨ニ之ニ當ラシメル意思有リヤ否ヤ、若シ有リトスレバ、此際農會ニ併置スル方ガ適當ナ處置デアラウト思ヒマスガ、當局ノ之ニ對スル御所見ハ如何ト云フノガ第一點デアリマス、其次ニハ近來獨リ農會ト云ハズ、或ハ畜産會ト云ハズ、或ハ地方ニ於テハ矢張政黨的關係カラシテ、斯ノ如キ何等政黨ニ關係ナキ公共團體モ矢張政黨ニ推込マレテ、動モスレバ產業團體ノ破壞ニナルヤウナ事ガアルノデアリマス、是ハ勿論會員ソレ自身ノ自省ニ依ッテ、其矯正ヲ計ルコトハ申ス迄モナイノデアリマスルケレドモ、之ヲ監督スル所ノ行政官廳ニ於テ、動モスレバ之ヲ矯正スルドコロカ、此黨爭ヲ煽揚スルヤウナ嫌ガアルコトヲ私ハ見聞シテ居ル、之ニ對シテ當局ハ、之ヲ矯正スル御意思ガ無イノデアリマセウカ、又矯正スル意思アリトスレバ、如何ナル方法手段ニ依ッテ之ヲ矯正スルノデアリマスカ、此點ヲ承リタイノデアリマス、是ハ大體論デアリマシテ、大體論ノ御答ヲ得タ上ニ、更ニ條文ニ付テ御尋ラシテ見タイト思ヒマス

○田中政府委員 御答申上ゲマスガ、第一點トシテ此度ノ農會法ノ中ニ、所謂林業ノ事ヲモ併セ規定シテハドウカ、又ソレニ關聯シテノ御尋ト思ヒマスガ、山林會法ト云フヤウナモノデモ制定スル考ヲ持ッテ居ルカ、ドウカト云フヤウナ御尋デアリマスガ、此農會法ノ中ニ、特ニ林業ヲ專門トスルモノヲモ統一スルコトノ可否ニ付テハ、相當農商務ニ於テモ、又農會關係ノ諸君ニ於ケレマシテモ、御研究ニナッテ居ラル、ヤウデアリマスガ、今日ノ所特ニ此林業專門ノ人ヲ、此農會員ノ中ニ一緒ニ加ヘナケレバナラヌト云フコトヲ認メナイ、斯ウ云フコトニ歸著シテ居リマシテ、當局ニ於テモ其主義ヲ執ッテ居リマス譯デアリマス、尤モ所謂農業ノ傍ラ林業ヲシテ居ル、農ト林トヲ兼ネテ居ルト云フヤウナ人ハ、自然其農タルノ資格關係カラ此會員ニナッテ、其利害ヲ矢張代表セラレテ居ルヤウナ恰好デアラウト思ヒマス、唯タ林業ヲ專門トスル人ガ此中ニ加ラナイ、斯ウナッテ來ル譯デアラウト思ヒマス、此林業ノ事ニ付キマシテハ、實際農業ト稍其趣キヲ異ニシテ居ル點モ段々有ルノデアリマシテ、例ヘバ先刻來ノ御尋モアリマシタヤウニ、假ニ林業專門者ヲ集メテ、其改良進歩ヲ計ル施設ト致シマシテモ、或ハ林業ニハ所謂町村ト云フヤウナ、單位ノ組合ヲ設ケシムルト云フヤウナ必要ハドウモ是ハナカラウ、少クモ郡或ハ郡デモマダ狹イ、寧ロ縣ヲ一ツノ單位トシテ山林會ト云フモノヲ拵ヘタ方ガ、却テ其進歩發達ヲ計ル上ニ於テ必要デナカラウカト云フヤウナ、御意見ノ方モ多クアルヤウデアリマス、要スルニ山林ノ現狀、山林トシテ一ツノ産業トシテノ現狀カラ、狹イ意味ニ農業ヲ取扱フモノト、取扱ヲ自ラ異ニシナケレバナラヌヤウナ趣旨ノモノデアラウト云フコトハ、多數ノ御意見ノアルヤウニ承ッテ居リマスノデ、兎モ角モ此際林業專門ノ人ヲ加フルト云フ必要ハマダ時期デヤナイ、此必要ヲ認メナイ、將來ノ事ハ一ツノ問題デアリマセウケレドモ、現狀ニ於テハサウ云フコトハアルマイ、ソレデハ更ニ其山林專門ノ方ノ立場カラシテ、山林ノミニ關スル山林會法ト云フヤウナモノデモ設ケル必要アルカドウカト云フト、是モ將來ハ必ズサウ云フコトノ時機ハ參ラウ、併ナガラ現在ニ於テ、御承知ノ通り全國ヲ區域トシテ居リマスル所ノ大日本山林會ト云フモノモアリマス、又府縣ヲ區域ト致シテ居リマスル府縣ノ山林會ト云フモノモガアリマシテ、何レモ公益法人トナッテ、林業ノ改良發達ニ資スル各種ノ施設ニ努メツ、アルノデアリマシテ、大分成績モ擧リ、益々其成績ノ見ルベキモノモアルヤウニ思ハレマスノデ、此趨勢ヲ助長スルコトニ、當局ト致シマシテハ大ニ努メツ、アル譯デアリマスガ、只今ノ所特ニ此農會法、或ハ水産會法ニ準ズルヤウナ山林會法ト云フヤウナモノヲ、此際設ケ

ル必要ハマダ認メテ居ラナイ、斯ウ云フ譯デアリマス、今後其情勢ニ依リマシテ、サウ云フ場合ニナルカモ存ジマセウケレドモ、只今ノ所デハ認メナイト、斯ウ御答スルヨリ致方ナイト思ヒマス

○村山委員 大體分リマシタ、此條文ニ付テデアリマスガ、第七條ノ「政府ハ農會ニ對シ豫算ノ範圍ニ於テ補助金ヲ交付スルコトヲ得」是ハ昨日質問應答ヲ承テ居リマス、此補助金額ハ十五萬圓以內デアルト云フヤウニ承ッテデアリマス、農會法改正ノ上ニ於テ著シク目ニ付キマスル事ハ、此經費即チ會費ノ強制徵收法ト云フモノノ、今回新ニ其途ヲ開カレタノデアリマス、即チ市町村稅徵收ノ規定ニ依ッテ、町村長ガ之ヲ強制徵收スル事ヲ得ル、在來農會ガ經費ガ不足デ仕事ガ出來テナカッタト云フ爲ニ、此補助ト云フモノ、必要ガ自ラ起ツタモノデアラウト思ヒマスルガ、強制徵收權ヲ與ヘ、更ニ又補助ニ依ッテ農會ト云フモノガ其經費ヲ支辨シテ行クト云フヤウナコトハ、政府ニ於テ是ハ都合ガ好イカハ知レマセスガ、補助ト云フコトハ餘リ恩典ガ厚クナリハシナイカト云フヤウナ嫌ガアルノデアリマス、在來農會方面カラシテ、經費ノ徵收ヲ強制スル規定ヲ設ケテ呉レト云フ希望ノアツトハ、商業會議所法ニ於テハ、經費ノ強制ガ出來ルノデアル、ソレト同様ニ農會ニモ與ヘテモ宜イデヤナイカト云フノデ——ケレドモ商業會議所モ、今日マデ補助ヲ與ヘラレタコトハ開カナイノデアリマス、強制徵收ガ出來レバ最早補助ヲ撤廢シテモ宜イヤウニ、思フ、ソレカラ補助金ヲ交付スルコトヲ得ト云フコトヲ法律ヲ規定シタノハ、萬一其補助ヲ受ケル者ガ、要リマセスト云フテ之ヲ拒ム者ガアル場合ニハ、困ルト云フコトヲ豫想シテ、此文字ヲ入レタノデアルカ、若シ政府ガ必要ニ應ジテ補助スルト云フ事ニナレバ、恐クハ補助ハ要リマセスト云フテ拒ム農會ハ無カラウト思ヒマスガ、斯ウ云フ規定ヲ置カナケレバナラヌト云フ意思ハドウカ、ソレカラ第十一條ニ於テ會員ノ資格デアリマスガ、「國公共團體及命令ヲ以テ規定シタル者ヲ除クノ外其ノ地區ノ耕地耕種ハ當然デアリマスガ、牧場又ニ原野ヲ所有スル者及云々」アリマシテ、之ニ會員タル資格ヲ與ヘテ居リマス、而シテ會員タル資格ガアル以上ハ、其經費ノ負擔ヲ拒ムコトノ出來ナイノハ言フマデモナイ、是ハ舊法ノ方ニモアツタノデアリマスガ、イツカ齋藤君ニ聽キマスルト、自分デハ或村ニ一向耕地ヲ持ッテ居ナイ、原野ヲ持ッテ居ッ、所ガ農會カラ徵收ガ來タカラ、法文ヲ調べテ見ルト、原野ヲ有シテ居ル者モ經費ヲ受ケナケレバナラヌコトニナッテ居ル、斯ウ云フコトデナリマシタ、此「原野」ノ文字ハ吾々ノ解釋ニ依レバ、農業ニ必要ナル採草地ト云フ

ノヲ原野ト云フ風ニ御考ニナツタモノグラウト思ヒマスガ吾々ノ知レル東北地方ニ於テ地目ノ原野トナテ居ルモノハ、今日ニ於テハ山林所謂林產物ヲ生産スルモノガ多イノデアリマス、尤モサウ言ヘバソレハ山林デハナイカト言ハレルカ知ラスガ、地目ハ原野デアツテモ、今日ノ場合ニ於テハ、林產物ヲ供給スル方面ガ多イノデアリマス、採草地モアリマスガ、併ナガシ東北ノ如キハ、林產物ヲ供給シテ居ルモノデアルト云フノガ今日ノ現狀デアリマス、ソレカラ牧場ハ牛馬ヲ飼養スル牧場ト云フノデ、農會ニ經費ヲ納メナケレバナラヌノカ知レマセスガ、是トモ畜產ガ目的ト云フコトニナリマス、如何ナル必要カラ牧場又ハ原野ヲ農會經費ノ目當トシテ其會員ノ資格ヲ與ヘタノデアルカ、是ハ舊法ニ於テモアツタノデアリマスガ、當然私ハ削除シテ可ナルモノト思ヒマスガ、矢張依然トシテ存置シテアル理由ハ那邊ニ在ルカ、此點ヲ承リタイノデアリマス

○田中政府委員 先程農會ヲ黨爭ノ具ニ供スルノ弊カアル云々ノ御言葉ガアリマシタガ、其御答ヲ落シマシタカラ、特ニ必要トシテノ御言葉デナカッタカ知レマセスガ、御答致シマス、此農會法ノ目的ト致シマスル所ハ、農業ノ改良、發達ヲ計ルト云フコトニ付テ、而モ第三條ニ列起セラレマスヤウナ事業ヲ遂行スル上ニ於テ、所謂政黨ノ關係ナドト云ウヤウナ事ハ、アルベカラザル事ト思フノデアリマス、併ナガラ此事ニ限ラズ、現在各地方ニ於テ往々ニシテ、ドウ云フ會ガ渦中ニ捲込マレタト云フヤウナ事實ガ、或ハ誇張セラレテ傳ヘラレタヤウナコトガアルカ知レマセスガ、兎モ角モサウ云フ事ハ折々耳ニスル所デアリマス、サウ云フ事ハ甚ダ宜シクナイト思ヒマスルシ、若シサウ云フ弊ヲ實際認メマシタ場合ニハ、丁度先程高田サンカラデアリマシタカ御尋ノアリマシタ如ク、監督ノ規定ニ依ッテ——三十四條ノ規定ニ依ッテ之ヲ取締ルヨリ外ニ致方ハナカラウト思ヒマス、ソレカラ此度ノ法律ニ於テ、經費ノ強制徵收ト云フ特別ノ恩典保護ヲ與ヘ、サウシテ尙ホ、其上ニ第七條ノ補助金ヲ與ヘルト云フコトハ、少シ保護ガ過ギハシナイカト云フ御尋デアリマスガ、或ハサウ云フ御趣意デハナカッタノカ知レマセスガ、此經費ノ強制徵收ト云フコトハ、保護デアルカ、保護デアリカト云フ言葉ヲ以テ答ヘヨト云フコトデアレバ、便宜ヲ與ヘルノデアリマス、保護ト云フコトニナルカヲ知レマセスガ、是ハ保護ト云フモノデハナク寧ロ農會ハ規約等ニ依ッテ、各自ノ利益ヲ増進スル意味ヲ以テ其義務ニ屬スル經費ヲ支出スルト云フコトハ、是ハ當然ノ事デ、其當然ノ義務ヲ盡サナイ者ニ盡サセヤウト云フノデアリマスカラ、嚴格ナル意味ニ於テノ保護ト云フ事ニハ當ラヌト思ヒマス、殊ニ實際ノ狀況ヲ見マスルト、徵收ノ方法ガ只今ノ

ヤウデアリマスルト、如何ニモ手數デ、結局之ヲ民事裁判所ニ訴ヘナケレバナラヌコトニナリマスカラ、僅ノ經費ヲ徵收スル爲ニ、多額ノ費用ヲ使ハナケレバナラヌヤウナ事ガ出來タリナド致シマシテ、ツイ經費ノ滞リ勝ニナルコトモアル、而モ經費負擔ノ能力ガ無イ爲ニ、困テ未納スルノカト云フト、調ベテ見ルトサウデナク、能力ノアル人ニシテ、ツイ之ヲ放任シテ置イテ、ソレガ溜ッテ納メル、事方應劫ニナルトデモ申シマセウカ、ドウモ調ノ結果ニ依ッテ見ルト、餘程不思議ナ現象ヲ現シテ居ル、九年ノ調ニ依ッテ見マスト云フト、一人當リノ未納額ガ、不在地主——實際ニ其町村ニ居ラナイ人デス、ソレガ一人當リ一圓二十五錢ト云フ未納ニナッテ居リマス、五町歩以上ノ所有シテ居ル者、又ハ經營シテ居ル者即チ申以上寧ロ大キナ地主、其方ガ四圓八十一錢殆ド五圓ノ未納ヲシテ居ル、ソレカラ一町歩以上五町歩未滿、ソレハ一圓三十七錢——金高デ申上ガマシタガ人數デ申シマス、不在地主千人當リ五十四人、ソレカラ五町歩以上ノ所有シテ居ル者ハ四十八人、ソレカラ一町歩以上五町歩未滿ト云フノハ二十五人、何レモ千人ニ付テデアリマス、サウ云フヤウナ風デゴザイマシテ、大キナ地所ヲ持ッテ居ル、相當先ヅ大體ニ能力アリト認メラレテ居ル方ノ人ガ、意ッテ此未納者ガアルト云フヤウナ譯デ、面白クナイ實際ノ有様デテルノデアリマス、デ此度ノ法律ニ依ッテ之ヲ取立テル手續順序モ簡單ニナッテ、サウシテ嚴重ニナルノデアリマスルカラシテ、所謂義務ヲ持ッテ居ル者ハ、其義務ヲ盡スト云フ、當然ノ事ヲ爲サシムルト云フノニ過ギスノデアリマスカラ、特別ニ保護ト云フコトヲ以テ此個條ヲ御批評ナサルノハ、少シ如何ナモノデアラウカト思ヒマス、ソレカラ第七條ニ於テ豫算ノ範圍ニ於テ補助金ヲ交付スルト云フ事ハ、是ハ近來ノ所謂補助金ヲ交付シ得ル場合ノ、各種ノ施設ニ付テノ例文ニナッテ居リマスルノデ、或ハ更ニ進ンデ其金額等ヲ此場合ニ規定シマシテ、尙ホ政府ノ義務範圍ヲ明ニスル事ハ、望マシイ事カトモ存ジマスノデアリマス、而シテ現在ノ法律ニ於キマシテハ、一箇年ノ金額ガ十五圓ヲ超ユルコトヲ得ズト云フヤウナ風ニ、現在ノ農會法ハハナッテ居リマス、是モ心配シテ申シマスレバ、超ユルコトヲ得ズト云フ最高限ヲ規定シタダケデゴザイマシテ、少ナイ方ハ何ボデモ宜ササウニ見エマスケレドモ、併シ法律ノ趣意精神ニ則リマシテ、年々豫算十五萬圓迄御協賛ヲ願フテ、サウシテソレノ補助ノ目的ヲ達セルコトニ努メテ居テデアリマス、今後モ昨日モ御答致シマシタガ、無論七條ノ改正ニ依ッテ、十五萬圓ヲ下スト云フヤウナコトハ無イノミナラズ、豫算ノ都合ガ出來マスレバ、更ニ進ンデ其上ニモ補助ヲスルヤウナ途ヲ開イテ行キ度イ、其

都合ノ出來ル度毎ニ切刻シテ、此法律ヲ改正スルト云フコトハ、甚ダ煩ニ堪ヘスノミナラズ、立法トシテハ矢張法律ハ長キニ渉ルコトヲ寧ロ目的トシタガ宜シカラウト思ヒマス、例ニ依ッテ「豫算ノ範圍ニ於テ」ト云フ、廣イ言葉ヲ以テ規定シタガ穩當デアラウト云フコトデアリマシタ譯デアリマス、ソレカラ次ニ尙ホ更メテ牧場原野等ヲ有スル者ヲ、此レカラ省イテハドウカト云フヤウナ御考ノヤウデゴザイマスルガ、是ハ無論規定ト致シマシテ、公簿ノ上ニ原野ヲ所有シテ居ル、牧場ヲ持ッテ居ルト云フヤウナ者ハ、當然會員ト認メラレノデアリマス、而シテ其原野ナルモノハ如何ニ之ヲ使用セラレツ、アルカ、農業上如何ナル關係ガアルカト云フヤウナコトニ付キマシテハ、或ハ東北地方ト九州地方ニ依ッテ、遠方アルヤウナコトモアラウト思ヒマス、其地方ニ依ッテ、御話ノ如ク東北地方ノ原野ト云フモノガ、山林ダト云フヤウナコトモアリ得ルと思フ、之ニ反シテ他ノ地方ニハ、原野ト云フモノハ直接農業ニ關係ガアル、勿論例外モアリマセウケレドモ、或ハ之ヲ秣場ニ致シテ居リマスルトカ、或ハ何カ農業ノ副業ノ用途ニ充テ、居リマスルトカ、農業ニ直接關係ヲ持ッテ居ルモノト見タガ宜イヤウナ場合モアラウト思ヒマス、一概ニ中上ガラレマセスガ、要スルニ原野等ノモノハ、直接間接ニ農業上ニ關係アリト認メラレテ、今日デモ此通りノ規定ニナッテ居リマスルノデ此度ノ法案ニモ矢張之ヲ加ヘマシタノデアリマス、サリナガラ先程中上ガマシタガ、或ル土地或ル場所ニ付テ、特別ニ斯ク々々ノ事情關係デアッテ、此場所ノ所有シテ居ル者ハ農業上何等ノ關係ガ無イトスレバ、第十六條ノ規定ニ依ッテソレニ加入スルコトガ迷惑ナリトスレバ、十六條ノ規定ニ依ッテ、ソレ等ノ人ヲ會員カラ除外スル途ヲ開カレテ居ルノデアリマス、併シ是ハ實際ノ問題デアリマスカラ、其實際問題ヲ能ク其地方ノ事情等ニ依ッテ審査致シマシテ、サウシテ之ヲ適當ニ適用スルヨリ外致方ガナイト思ハレマス

○村山委員 大體今ノ御話ハ分リマシタガ、第十一條ノ牧場又ハ原野ノ所有スル者ト云フコトハ、農業ニ關係アル者ト看做ス意味ニ於テ、斯ウ云フ言葉ノヤウニ承タノデアリマス、事情ノ異ナル所ノ原野ハ、其大部分ガ山林ニ供用スル目的ニ使用サレテ居ル様ナコトハ、當然除外セラルベキモノデアラウト思ヒマスガ、此意味ヲ明ニスル爲ニ、直接ニ茲ニ農業ニ關係アルモノト限定サレマスレバ、文字ガ明ニナルト思ヒマスガ、サウ云フヤウニ御修正ニナル意思ハアルカドウカ、斯ウ云フコトデアリマス、時間ガ無イヤウデアリマスカラ、簡單ニ中上ガマス、第二十條ノ「左ニ掲クル事項ハ總會ノ議決ヲ經ヘシ」何々トアル、是ハ「一、二、四六ト云フモノハ」行政官廳ノ認可ヲ受クルニ非ラサレハ其ノ效力

ヲ生セス」ト斯様ニアリマス、昨日八田サンカラシテ、經費ニ付テ行政官廳ガ、其制限ヲ設ケテ置ク必要ガ無カラウカト云フ御尋ガ一寸アツタヤウデアリマスガ、私モ矢張ソレト同様ナ感ヲ持ツモノデアリマシテ、或ル經費ノ目安ヲ立テテ、之ヲ一ツノ制限トスル、此所マデハ宜シイト云フコトノ制限ヲ設ケ置キマシタナラバ、認可ト云フコトハ最早私ハ不用ニ屬スル、詰リ報告ヲシテ、其制限ノ範圍ニ於テ施設スヘシ——ソレハ一片ノ報告ニ止マル、斯様ニシタガ、私ハ自治ノ發達ノ上ニ於テ都合ガ好クハナイカト思ヒマス、何トナレバ地方ノ公共團體モ、近來政黨化黨爭化スル嫌ガアル、而シテ今日ノ地方行政官——地方官ガ之ヲ圍繞スル傾向ガアルノデアリマス、デ是ハ出來得ル程度ニ矯正シタイト云フ希望デアリマシテ、例ヘバ今日認可權ノ濫用ト云フ事ガ甚シイ、即チ各町村長、若ハ助役吏員ノ認可サヘモ政黨化シテ、認可權ノ濫用ハ屢々行ハレテ居ル、是ハ農商務ノ行政官廳ニ於テハ、今日ノ地方官ハ決シテサウ云フコトハ無イト言フカモ知レマセスケレドモ、内務省所管下ニ於テ斯ノ如キ事ガ屢々行ハレテ居ルト云フコトハ、私共ノ見聞スル所デアリマス、此認可ト云フ事ガアル爲ニ、左様ナ動モスレバ濫用ト云フヤウナ事ガ起ルノデアリマスカラ、經費一ツノ制限ヲ置イテ、サウシテ其範圍内ニ於テスル、ソレノ一片ノ報告ニ止メマスレバソレデ宜シイ、斯ウ云フ事ニスルト御意思ハ無イカドウカ、ソレヲ承リタイ

○田中政府委員 御答致シマス、或ハ順序ガ前後スルカ知レマセスガ、後ノ事カラ中上ガマス、經費ノ制限スルト云フ御言葉ハ、例ヘバ何萬圓トカ、何千圓トカ云フ風ニ書カウト云フ御考カドウカ知リマセスガ、要スルニ兎モ角全國ニ亘ル各種農會、而モ其農會ヲシテ益々本部治下ニ於テ活動セシメヤウト云フ、斯ウ云フノデアリマスカラ、其農會ノ働ニ依ッテ要スル所ノ經費等モ、色々違フト思フノデアリマス、立派ナ仕事ヲシテ居ル所デハ、自然之ニ伴ウテ餘計ナ經費ガ要リマス、今日ノ法ノ上ニ於テ、一體一律ニ或制限ヲ設ケルト云フヤウナコトハ、何方御名案ガアレバ見エ角、サウデナケレバ私ハ出來ナイト思ヒマス、ソレ故實際出來ルヤウニスルニハ、認可ノ制度ヲ執ッテ、濫ニ流ル、ヤウナ事ノナイヤウニ防グ、斯ウ云フヨリ仕方ハナイ、而シテ之ヲ監督スベキ認可ノ權ヲ有ッテ居ル行政官廳ガ、何カ不法ナ事デモスト云フヤウナ御心配ハ、ソナナ事ハアルマイト思ヒマスガ、若シアルトスレバ、是ハ不法ナ事ヲ敢テスルノデアリカラ、他ノ方法ニ依ッテ其等ノ對スル制裁ヲ加ヘルヨリ他ニ途ハナイト思ヒマス、ソレカラ十一條ハ色々御心配デアリマスケレドモ、先刻申シマス通り、大體牧場ト云フヤウナモノハ、根本義トシテ農業ト密接ナ關係ガアリ、直接サウ云

○理事ニ使用セラレテ居ルモノモ、實際ノ統計ノ上カラ多クアリマスルカラ、是ハ矢張法ノ解釋トシテハ、現在ノ通りニ致シテ置イタガ宜シト當局ハ認メテ居リマス、唯々併シ或特殊ノ場合ニ於ケルモノ、明ニ除外シテ差支ナイト認ルモノニ付テハ、十六條ノ規定ヲ適用スル、斯ウシタガ方實際ニ適スルコト、信ジテ居リマス

○村山委員 十六條ノ規定ハ御話ノ通りデアリマスガ、サウシマスルト、是ハ行政官廳ガ特ニソレヲ命令スルト云フ意味デアリマスガ、又ハ町村農會ソレ自身カラサウ云フ意味デアリマスガ、又ハ町村農會ソレ自身カラサウ云フ除外例ヲ求メテ、其認可ヲ受ケルト云フ意味デアリマスガ、ドウ云フ意味デアリマスガ

○田中政府委員 ソレハ兩方ノ場合ガアラウト思ヒマス、併シ却テ實際上トシテハ、ソレニ加入サセラレテモ迷惑ト思ヒマス者ハ、所謂會員ノ方カラ俺ハ除外シテ呉レ、斯ウ云フコトヲ申出テ來ル場合モアラウト思ヒマス

○成田委員 私ハ是デ質問終結ノ動議ヲ提出シマス

○植場委員 長 マダ質問ノ申出モ 大分アリマスガ、午前ハ是デ止メテ、午後一時半カラ……

○齋藤委員 モウ少シ時間ヲ延シテヤッテハ如何デスカ

○高田委員 十分カソコヲ延バセバ濟ムノデスカラ、モウ少シヤッテ方宜イデセウ

○植場委員 長 ソレハ諸君ニ御異議ガナケレバ、モウ少シヤルトニ致シマス

○佐久間委員 私ハ希望ナリ意見ナリヲ述ベヤウト思ヒマスガ、村山君ニ依ッテ言盡サレマシタガ、此農會ガ山林經營ノ事ヲ兼ネテヤラレト云フコトハ、少シク如何デアラウカト思ヒマスガ、併シ是ハ私等モ實ハ一三〇年ノ間農會事業ニ從事シテ居タ者デアリマシテ、一概ニハ申サレマセマガ、農會ト山林經營トハ、地方ニ於テ相須ツテ離レヌモノデアリマス、ソレデドウシテモ農家ニハ山林ガアリ田畑ニハ山林ガ付イテ居ル、斯ウ云フ狀況デアリマスカラ、是ハドウシテモ入レル必要ガアラウト思ヒマス、ソレハ唯ダ私ノ地方ノ狀況デアリマシテ、一般トシテハサウハ參ラヌカ知レマセマガ、之ニ付テハ第三條ニ事業目的ノ範圍デ、何カ方法ヲ講ジテ置イタ宜カラウト思ヒマス、斯ウ云フ修正ヲ第一ニ申上ゲテ、其理由ニ至ッテハ村山君カラ詳細申サレマシタカラ、私ハ敢テ申シマセマガ、一寸序ニ御尋シタイト思ヒマスノハ、政府ノ補助金ヲ郡農會トカ、町村農會ニ向ッテ、直接交付ニナツタ例ガゴザイマスガ、今マデノ例ニ依リマス、大分府縣農會ニ向ッテ補助ニナリ、府縣農會ニ之ヲ分付補助シタト云フ狀況デアリマスガ、サウ云フ事ハ從前通りヤルノデアリマスガ、御尋致シマス

○石黒政府委員 只今ノ御質問ハ、補助ノ方ダケノ御質問ノヤウニ伺ヒマシタ、郡農會町村農會ニ、政府カラノ補助ガ直接行ツタ例ガアルカト云フ、斯ウ云フ御尋デアリマス、是ハ極メテ僅カナ例デゴザイマスガ、アリマス、ソレハ東京府ノ小笠原農會、八丈島農會、大島農會、是等ハ郡農會級ノモノデゴザイマス、是ハ東京府農會ニ加入シテ居リマセヌカラ、之ニ對シテ僅カ許リノ農會ノ補助デアリマスガ、二三百圓ノ金ヲ各農會ニ補助シテ居リマス、此例ガアリマス、是ハ農會法ニ規定シタル國庫補助デアリマセヌガ、此以外ニ補助金ニ於テ、例ヘバ、副業獎勵費ノ如キモノヲ、極メテ僅カ數十圓ト云フモノヲ、特殊ノ町村農會ニ交付シタト云フ例ガ既往ニ於テアルノデアリマス、併ナガラ是ハ段々地方ニ於ケル要求ト云フモノガ、縣トカ縣農會トカ、或ハ其他ノ縣區域ノ團體ト云フモノカラ要求ガ餘計ニナリマシタニ拘ラズ、獎勵費ノ増加ト云フコトガ、一方ニ於テ思フヤウニ出來マセヌ爲ニ、成ベク全般ニ亘ルモノニ補助スルト云フヤウナ事ニ變リマシテ、今日ニ於テハ町村若ハ郡農會アタリニ、直接ニ副業獎勵等トガ參リタ、例ハゴザイマシタ

○齋藤委員 私ハ施行規則ニ對シテ二三伺ヒタイ、是ハ急ニ拵ヘラレタモノト見エテ甚ダ見ニク、且ツ足りナイ所モアルヤウデアリマスガ、今問題ニナリマシタ十一條ノ如キモ、公共團體及命令ヲ以テ規定シタルモノヲ除クト云フ事ガアリマス、此命令ヲ以テ規定スルト云フ事ノ解釋ガ無イヤウデスカ、是ハ如何カニ規定デアリマスガ

○石黒政府委員 只今ノ施行規則ハ、實ハマダ練テ案デハアリマセヌノデ、ホンノ私共ノ心算ニ書イタモノヲ、御要求ニ依ッテ御目ニ懸ケタ次第デアリマスカラ、多々未熟ノ點ガアラウト思ヒマス、御氣付ガアリマシタラバ拜聴致シタイト思ヒマス、ソコデ第十一條ノ命令ヲ以テ規定シタルモノト云フ點ニ關シマシテハ、只今ノ所施行規則ニ於テ書クト云フ、具體的ノ事ヲ考ヘテ居リマセヌ、或ハ書カナケレバナラヌカトモ思ヒマスガ、地方ノ事情ニ應ジタル規定ニシタ方ガ宜クハナカラウカ、概括的ニ地方廳カラノ命令ヲ以テ除外スルト云フヤウナ事モ、一ツノ方法デハナカラウト考ヘテ居リマス

○齋藤委員 是カラ研究シテ規定スルト云フコトデアレバ、餘程研究ヲ望ムノデアリマス、村山君カラ問題ニナツタ原野ノ問題ノ如キ、次官ノ御説明ニ依ルト、十六條ニ依ッテ云々ト申サレマセヌケレドモ、會員ニシテ林地ヲ有ッテ居ルト云フ者ガ除外サレト云フコト、半分除外シテ、半分會員ト云フヤウナ事ニナル、是ハ十一條ノ法文ヲ明瞭ニスル爲ニ、施行規則ヲ設ケラレル時分ニ、十分御考ニナッテ御規定ニナラナ

ケレバナラヌグラウト思ヒマスカラ、御注意申上ゲテ置キマスソレカラ 謄寫版ニナッテ思ヒマス方ノ第六、是ハ私モ一昨日質問シタノデアリマスガ、總會ニ於テハ最小限度ヲ定メナイ、會則ニ定メルト云フ御言明デアツタガ、總代會ニ對シテハ、最小限度ヲ定メルト云フ御考ノヤウデアリマス、總代會ハ總會ヨリ小サイノデアッテ、其最小限度ヲ定メテ、總會ノ最小限度ヲ定メナイト云フコトハ、甚ダ不備ト思ヒマスカラ、是モ十分御研究ヲ願ヒタイ

○石黒政府委員 只今御尋ノ第六ハ、一寸或ハ書方ガ惡カッタカモ知レマセヌ、是ハ會員ノ最小限度ヲ定メヤウト云フノデアリマシテ、會員數ガ著シク少イ所デハ、總代會ヲ置カナイデ、總會ダケデヤッテ宜カラウ、斯ウ云フ意味デアリマス、故ニ昨日御質問ノ總會ニ於ケル、定足數ト云フ意味デアリマセヌ

○齋藤委員 私ハ一寸誤解シテ居リマシタガ、此箇條ニ對スル意味ハ分リマシタ、併ナガラ私ハドウシテモ總代會モ——例ヘバ三百人以上ノ會員ヲ有スルモノハ、總代會ヲ設クルコトヲ許スト云フコトニナリマシテモ、ドウ云フ程度ノ總代會ヲ作ルカト云フコトガ必要ダト考ヘマス、ソレ同時ニ、總代會ヲ認メザル所ノ總會ニ於テノ最小限度モ、何等カノ規定ガナケレバ甚ダ意味ヲ成サナイ、而モ今度ハ會費ノ徵收權ヲ許シテ居ルノデアリマスカラ、總會ノ權限ト云フモノハ非常ニ重大ナルモノデアリマス、ソコヘ持ッテ行ッテ、勝手次第ニ五分ノ一デモ宜ケレバ六分ノ一デモ宜イト云フヤウナ總會デハ、是ハ問題ノ起ル原因ニナルノデアリマスカラ、是等ハ何等カ規定ガナケレバナラヌ、私ハ斯ウ云フ重大ノ權限ヲ有ツ所ノ決議機關ハ、ドウシテモ本法ノ上ニ規定スルベキモノト思ッテ居リマスガ、ソレガイケナイトスレバ、施行規則ニ於テ規定シナケレバナラヌト思フノデアリマス、ソレカラ次ニ第十條務ノ報告及收支決算ノ承認ノ期日ト云フ事ガアリマス、此期日ハ何時ナサル積リデアルカ、一昨日ノ御説明ニ依ルト、非常ニ總會ヲ開クト云フコトヲ少クシヤウト云フ考カラ立法サレテ居ル、然ルニ會務ノ報告、及收支決算ノ出來ル時期ニ於テ、又其承認ヲ求メル爲ニ總會ヲ開カナケレバナラヌト云フコトニナルト、總會ガ一ツ殖ニルト云フコトニナル、其點ヲ御考ニナツタノデアルカドウカ、ソレヲ御尋シタイ

○石黒政府委員 只今ノ會務ノ報告、及收支決算ノ承認ノ期日デアリマスガ、是ハ特ニ必要ノ無イ限リハ、大體ニ於テ現今ノ農會令ノ二十三條デスカ、六月三十日迄ニ云々ト云フコトガゴザイマス、大體此位ノ程度デ行カウカト云フ見込デアリマス

○齋藤委員 今度ノ改正案デハ、決算モ總會ノ承認ヲ經ナ

ケレバナラヌコトニナッテ居ル、是迄ハ唯公示スヘシト云フコトデアッタカラ、六月三十日限り書類ヲ纏メテ、或ル形式ニ依ッテ會員ニ公示スレバ宜カッタ、所ガ今度ハ總會ノ權限ニ、決算ノ承認ト云フコトヲ規定シテアルカラ、正式ニ總會ヲ開カケレバナラヌコトニナル、六月三十日迄ニ決算ヲ出スト云フコトニナルト、其六月内ニ於テ總會ヲ開カケレバナラヌコトニナリマスカラ、私ハ立法ノ趣旨ト、施行細則ノ承認ノ期日ヲ規定スルコト云フ考ト矛盾シテ居リハセヌカ、斯様ニ考ヘマスカラ質問シタノデアリマス、ソレニ對シテ如何ナル御考デアリマスガ

○田中政府委員 只今ノ御注意ノ事ハ至極御尤ト思ヒマスガ、只今石黒君カラ申上ゲタヤウニ、是ハホンノ農務局ダケノ私案トデモ申スベキモノヲ、御請求ニ依ッテ御手許ニ差上ゲタヤウデアリマス、マダ一般ノ議ニ付シテナイ事デアリマスガ、只今ノ御尋ノ御趣旨ニ依ッテ、私共モソレガ爲ニ特ニ會務報告決算ノ承認ノ爲ニ、別ニ總會ヲ開クヤウナ規則ニナルト、非常ニ迷惑ノ事ト思ヒマス、何レ次ノ總會トカ次ノ次ノ總會トカ、何レサウ云フトキニ此承認ヲ求ムルヤウナ順序ニ取計ラッテ、ソレガ爲ニ特ニ總會ヲ開カケレバナラヌト云フヤウナコトノ無イヤウナ規定ニシナケレバナラヌト思ヒマス、一層注意シテ研究致シマス

○齋藤委員 次ノ次ナント云フヤウナコトハ、農會ノ經濟トシテハ許サヌデアリマス、六月ニ總テ締切ッテ決算ヲスレバ、其尻ヲ受ケテ次年度ノ豫算ノ繰越金トシテ、サウシテ歳入ヲ造ルデアリマスカラ、ドウシテモ其通常總會マデノ間ニ、此承認ヲ受ケテシマハナケレバナラヌコトニナルノデアリマスカラ、其邊ハ遺漏ナク御考ヲ願ヒタイ、サウデナイト、少クトモ一年ニ一度總會ヲ開カケレバナラヌコトニナリマスカラ、非常ナ其經費上關係モアリマスノデ、相當考慮セラレンコトヲ望ミマス、最後ニモウ一ツ此貼紙デ、行政官廳ノ説明ガシテアリマス、随分錯雜シテ居リマスヤウデ、私ハ一々合ハシテ見タノデアリマスガ、大體ニ於テ諒解シマシタガ、此「ロ」ト「ハ」ノ中ノ三十二條、三十四條ノ下ニ書イアル括弧之ガ能ク分リマセヌ、三十二條ハ御承知ノ通りニ、此行政官廳ハ農會ニ對シ會務ニ關スル報告ヲ爲サシメ、會務ノ執行又ハ財産ノ狀況ヲ檢査シ、會則收支豫算又ハ經費ノ分賦收入方法ノ變更ヲ命ジ其ノ他監督上必要ナル命令又ハ處分ヲ爲スコトヲ得ト云フノデ、ソレカラ第三十四條ハ、先刻高田君カラヤカマシク御議論ガアリマシタ、此最後ノ監督權、事業ヲ停止シ、農會ヲ解散スルコト云フ最大權威ヲ執ルベキ條項デアリマス、然ルニ此説明ニ依ルニ、會務ノ報告會務執行及財産狀況ノ檢査ナント云フコトヲ、極ク輕イ事ヲ書イテアルノデアリマスガ、是ハ三十二條ニ對スル

説明デアッテ、三十四條ノ重大ナル説明デハナイノデアリマス、而、テ此三十四條ノ町村農會郡農會等ニ對シテ、郡長ガ此最大特權ヲ振フコトノ出來ルヤウニ、是ハ解釋ガ出來ルノデアリマスガ、是デハ甚ダ不都合ダト思ヒマス、今日ノ狀況デハ、郡長ガ郡農會長ヲヤッテ居ル、而シテ一面郡長農會長デアッテ、ソレニ解散ヲ命ジタリ、何かスルト云フコトハ、甚ダ不都合ダト思ヒマスカラ、是ハ三十四條ノ場合ニ於テハ、一般上ノ人ガヤラナケレバナラヌト思フノデアリマス、此參考書デハ能ク分リマセヌ、更メテ御説明ヲ請ヒタイノデス

○石黒政府委員 只今行政官廳ニ付テノ事デアリマスガ、三十四條ノ中ノ重大ナモノハ、勿論上級ノ官廳デ以テヤラセルヤウナ積リデ居リマス、ソレデ三十二條、三十四條ノ中ノ會務ノ報告、ソレカラ財産狀況ノ檢査ト云フヤウナ事ヲ同級ト言フテ宜ウゴザイマスガ、ドウデゴザイマスガ、縣知事ガ縣農會ニ對シ、郡長ガ郡農會ニ對シテ爲シ得ルト云フ途ヲモ開イテ置カウト云フノデ、此所ヘソレダケヲ今齋藤君ノ仰シヤル、輕微ナル分ヲ書拔イテ置イタヤウナ次第デアリマス、重大ナル事ニ付マシテハ、一級上級ノ官廳ニ於テヤラセルト、斯ウ云フヤウナ趣意命令ハ規定致シタイト思ッテ居リマス

○齋藤委員 只今ノ御説明ニ依レバ、此第十八ノ「イ」ノ所ニ農商務大臣ノ權限内ニ、三十二條、三十四條ト云フヤウナモノヲ加ヘナケレバナラヌト思フノデアリマス、ソレガ無イカラシテ疑問ガ起ル

○石黒政府委員 非常ニ御覽ニクカッタカモ知レマセヌガ是ハ前ノ方ニ書イテアリマス

○齋藤委員 而シテ輕微ナル事ニ對シテハ、郡長ガ事務ヲ監督スルト斯ウ云フコトニナリマスナ

○石黒政府委員 サウデス

○齋藤委員 私ハ三十二條、三十四條ノヤウナ事ハ、矢張上級ノ者ガヤラナケレバ權威ガ無イト考ヘマスカラ、ソレヲモウ一御考ヲ願ヒタイト思ヒマス

○石黒政府委員 一寸只今申殘シタノデアリマスガ、輕微ナ事ヲ郡長タゲニヤラセル積リデアリマセヌデ、勿論地方長官モヤリ得ルシ、郡長ニモヤラセルト云フコトニ致シテ置キタイト、斯ウ云フ積リデアリマス

〔質問打切ノ動議ヲ提出シマス〕ト呼フ者アリ

○植場委員長 ソレデハ質問ハ是デ終了シテ宜シウゴザイマスガ

〔終了〕ト呼フ者アリ

○植場委員長 ソレデハ終了致シマシタ、今日ハ是デ散會致シテ、何レ各派ニ於テモ御協議ガアルデアラウト思ハマ

スガ、次ハ何日頃……
〔御協議ガ纏ッたらバ成ベク早く本會ニ廻シタイ〕ト呼フ者アリ
○植場委員長 ソレデヤ明日午後二時カラ開會致シマス今日ハ散會致シマス
午後零時三十一分散會

大正十一年二月二十四日印刷

大正十一年二月二十五日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局